

《名画の扉》

大川美術館コレクションから



「水差しとサクラランボ」

1945年、油彩、カンバス
22.0cm×34.5cm

ジョルジュ・ブラック (1882~1963年)

常設展では大川美術館「ければならない」とフ館コレクションから20世紀の西洋美術作品を紹介しています。

ジョルジュ・ブラックによるこの静物画は、黒を多用した背景に、暗色の水差し、白いテールブルクロスの上に黄色いレモンと赤茶色のサクランボが見えます。

自ら額縁を作ることでもあったブラックですが、本作では画面に額縁が描かれます。これは一種のトロンプ・ルイユ(だまし絵)ですが、「描くものを見せるだけ」ではなく、透明な奥行きが生み出されています。ブラックの画面は現実とも描写された静物とも別の絵画的事実として存在し、それは描かれた額縁によっても強調されています。

い。さらに触れさせない。

(大谷)